

とっとりの手仕事

来月以降で分野ごとに紹介していきます。

■中部地区の手仕事

緋では江戸時代から続く精巧な絵緋が特徴的な倉吉緋が、郷土玩具では地元の民話や伝説をモチーフにした「北條土人形」や「はこた人形」があります。



■東部地区の手仕事

江戸時代から続く因久山焼、民芸運動に大きく影響を受けた牛ノ戸焼、伝統工芸界で活躍されるやなせ窯といった陶磁器、千年以上の歴史を持つといわれる因州和紙、地元の伝統芸能麒麟獅子舞をモチーフにした獅子頭、郷土玩具などがあります。

■西部地区の手仕事

江戸時代から浜緋として発展してきた弓浜緋、全国でも少なくなってきた和傘「淀江傘」の製作などが行われています。

右 吉田璋也がプロデュースした木製電気スタンド(伸縮式)
下 染め分け皿
(鳥取民芸美術館蔵)



吉田璋也(1898年~1972年)鳥取生まれ、医師。鳥取民芸美術館、たくみ工芸店、たくみ割烹店を開設し、職人たちの指導と販路開拓に尽力した。

鳥取の陶器、織物、木工など多くの分野で職人たちを指導し、鳥取の手仕事に新たな魅力を吹き込みました。そしてプロデュースした作品を県内外で紹介し、鳥取の民芸は広く知られることになりました。

日常に使うものこそ真の美しさがあるという「用の美」の精神と、優れた過去の技術に学びながら、その時代にあった新しいものを生み出す姿勢は、今なお作

鳥取の手仕事の今

り手たちに受け継がれています。

最近では、陶磁器、ガラス工芸、漆工芸、皮革、家具などの分野で若い作り手が製作に力を注ぎ、新たな鳥取の伝統の芽が少しずつ育ちつつあります。

皆さんも一度鳥取の民芸品を手にとり使ってみてください。その良さを皆さんに感じていただくことが、鳥取の手仕事を未来へ引き継いでいくための大きな力になります。来月号以降、鳥取の手仕事を紹介していきますので、どうぞお楽しみに。

問合せ先

県庁観光政策課
電話 0904-7-6968

詳しくは…

●とりネット

「とっとりの手仕事」(手仕事全般)
<http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=27512>
「とっとりの工芸品」(伝統的工芸品)
<http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=95598>

●パンフレット「鳥取の手仕事」
(鳥取県市場開拓課発行)をご覧ください。

鳥取の手仕事

伝統の技と新たな挑戦

新シリーズ [序章]

受け継がれてきた伝統の技を継承し、その伝統の技に学びながら新たな作品づくりに挑戦する鳥取の手仕事。古いものと新しいもの、どれも魅力にあふれています。このコーナーでは、そんな鳥取の手仕事を陶磁器・和紙などの分野ごとにシリーズで紹介していきます。今回は序章として鳥取の民芸全般について紹介します。

受け継がれる伝統の技

「大変ですけど、自分たちが伝統を守っていかなくてはいけないと思って頑張ってるんです」

ある工房でお聞きした言葉です。

鳥取県には和紙、緋、陶磁器、木工、竹細工、鍛冶、郷土玩具、和太鼓、出雲石灯ろうなどさまざまな伝統工芸品があります。中には奈良時代、江戸時代が起源といわれるものもあります。これらは作り手たちの強い信念と努力によって現在まで受け継がれてきました。

「古くて新しい」デザイン 今注目を浴びる 鳥取の手仕事

古くから作られているものは、



手洗鉢/因州・中井窯

今でも全く時代の経過を感じさせないデザインのものも多いのですが、見方や発想を少し変えようと、モダンで斬新なものに生まれ変わることもあります。

例えば智頭急行の列車内は、鳥取の民芸品などで演出され、2008年度グッドデザイン賞を受賞。今年2月には「JIDAデザインミュージアムセレクションV011」にも選ばれるなど、高く評価されています。

手洗鉢には因州・中井窯の陶器、照明には因州和紙、智頭杉、カーテンには倉吉緋、客室の扉には因州和紙が使用され、鳥取ならではの素敵な旅の演出に二役



智頭急行車内の様子
(画像提供: 智頭急行株式会社)

買っています。

また、ライフスタイルの変化にあわせて新たに生み出された、インテリア製品や日用品などは、県内はもちろんです。県外のかたにも人気があります。

こうして新たな作品が愛されるのもまた、これまで受け継がれてきた伝統があつてこそなのではないでしょうか。

かつ古く美しい。使っていて心地いい。そんな本物の贅沢がこの鳥取に、皆さんのすぐそばにあるのです。

日常に使われるものに 宿る美しさ — 吉田璋也のプロデュース

鳥取は、日本の民芸運動の第一人者柳宗悦の「名も無き職人」によって生み出された日用の雑器や生活道具の中にこそ真の美しさがあり、生活に根ざしたものを作り使うことによって民衆の生活に美しさもたらされる」という思想が実践された地です。実践したのは鳥取の医師、吉田璋也でした。

吉田は柳の思想を受け継ぎ、